



「遺伝カウンセラーの立場から」

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
保健学専攻看護学講座 助教
長崎大学病院遺伝カウンセリング室
遺伝カウンセラー

佐々木規子



遺伝に関わる病気の、医学的、心理的、家族への影響や問題について、人々が理解し、それに適応していくことを助けるプロセスです。

1. 家族歴と病歴を解釈
2. 情報提供
3. 心理的支援





遺伝カウンセリングでは どのような相談を受けますか？

■ 周産期

出生前診断, 近親婚, 不妊 等

■ 小児期

染色体異常, 筋疾患, 先天奇形 等

■ 成人期

家族性腫瘍, 神経性疾患 等



遺伝カウンセリング担当資格

日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会による認定制度

■ 臨床遺伝専門医

2016年1月現在 1272名

(うち長崎県内 15名)

産婦人科,小児科,乳腺外科,精神科,形成外科

■ 非医師認定遺伝カウンセラー

2005年に認定遺伝カウンセラー制度が発足

2015年12月現在 182名

修士課程 養成校 11校

(その1つに長崎大学遺伝看護・遺伝カウンセリングコース)



出生前診断とは

生まれる前に胎児の状態を明らかにすること

広義：胎児の発育やwell beingを評価すること

狭義：先天異常を明らかにすること



■ 偶然，赤ちゃんの異常が疑われた場合

超音波検査の所見

妊娠経過の異常（羊水過多，羊水過少等）等

■ 自律的な意思による場合

高齢妊娠，両親の遺伝的状态

過去に障害をもつ子どもを出産した経験 等



NIPTの遺伝カウンセリングを受診する妊婦

受検の適応

- ◆ 高齡
- ◆ 染色体異常の子どもを妊娠した経験
- ◆ 妊婦検診で染色体異常の可能性が疑われる 等



受検の理由

- ◆ 病気の子どもを残して先に死ねない
- ◆ 上の子どもに負担をかけたくない
- ◆ 育てる自信がない 等
- ◆ 障害があるならあるで、受け入れる準備をしたい



NIPTの相談で

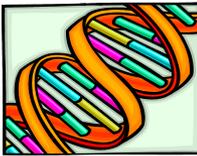
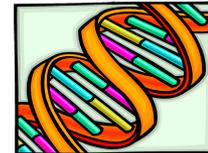
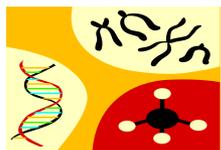
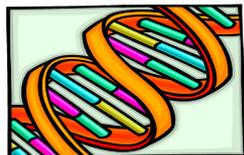
このような妊婦さんに出会うことがあります

- 周りの人の勧めで
- 取りあえず，受けてみよう
- 安心が欲しい
- 妊娠を誰にも伝えない
- 妊娠していることを意識しない
- 妊娠していないように振る舞う
- 胎児に愛情を抱かない





遺伝教育プロジェクトメンバー



長崎大学医歯薬が子総合研究科：
佐々木規子、森藤香奈子、宮原春美

みさかえの園 むつみの家 ：松本 正